

# 事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	急傾斜地崩壊対策事業		
長崎県総合計画上の位置づけ	柱	3	夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創る
	基本戦略	3	安全安心で快適な地域を創る
	施策	(3)	災害に強く、命を守る強靱な地域づくり
	事業群	⑤	防災・減災対策のための国土強靱化の推進

作成年月日	令和4年6月6日		
事業所管	土木部 保全班	砂防課 (内線)	3076
課(室)長名	浅岡 哲彦		

## 1. 事業の概要

事業概要	<p>&lt;事業の主な実施内容&gt; 斜面の安定を図るため、法面工、擁壁工、排水工を実施。</p>																							
	<p>&lt;国の主な採択基準&gt; 下記各号に該当する場合で事業費が7,000万円以上のもの ・急傾斜地の高さが10m以上であること ・移転適地がないこと ・土砂災害(特別)警戒区域に指定されていること。 ①人家概ね10戸(公共的建物を含む)以上に倒壊等著しい被害を及ぼす恐れのあるもの。(市町地域防災計画に位置づけられた避難路を有する急傾斜の場合は、「7,000万円」を「8,000万円」に、「10戸」を「5戸」に読み替える。 ② 避難場所に倒壊等著しい被害を及ぼす恐れのあるもの</p> <p>&lt;負担区分(%)&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> <th>条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40~47.5</td> <td>40~47.5</td> <td>20~5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;県費の継ぎ足し&gt; <input type="checkbox"/>有    <input checked="" type="checkbox"/>無</p>	国	県	地元	条件	40~47.5	40~47.5	20~5																
国	県	地元	条件																					
40~47.5	40~47.5	20~5																						

## 3. 令和4年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	入船(7)地区	長崎市
2	下歌ヶ浦(11)地区	佐世保市
3	田ノ元(4)地区	佐世保市
4	赤崎(57)地区	佐世保市
5	大和(9)地区	佐世保市
6	早苗(22)地区	佐世保市
7	早苗(31)地区	佐世保市
8	白岳(16)地区	佐世保市
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

## 2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	<p>本県では、急傾斜地危険箇所が8,666箇所と全国16位の危険箇所を抱え、さらに一方では、少子高齢化対策、過疎といった問題も抱えている。 事業評価の視点として、「費用便益化」や「保全人家戸数」「避難路」等の費用便益にも反映している。 また、がけ崩れによる被害は頻度が高く、少降雨でもがけ崩れが発生し尊い人命が奪われており、特に重要性の高い「危険度」そして、「関連する他事業との連携」「環境対策」「地元の要望・熱意」「用地取得の見込み熟度」等を総合的に判断し事業評価を行っている。</p>
---------	---

令和4年度新規要求箇所評価調書(急傾斜地崩壊対策事業)

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R4)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R4)				新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合 評価	
					事業費	国費	県費					市町村費等
							県債	一般財源				
いりふね 入船(7)地区	長崎市	県	R8	法面工 A=1,710m <sup>2</sup>	163,000	65,200	58,680	6,520	32,600	当地区は、土砂災害警戒区域等に指定され、急峻な崖地の下に保全対象となる人家19戸、1級市道が存在する。今後の降雨によっては、大規模な土砂災害が発生する危険性が極めて高いことから早急に対策を行う必要。	平成29年6月に地元からの要望書を受領済み。	A
				測量・調査・設計 1式	5,000	2,000	1,800	200	1,000			
				費用便益比	B/C=4.40 > 1.00		負担割合	国:県:地元=40%:40%:20%				
地筋が急 下歌ヶ浦(11)地区	佐世保市	県	R13	法面工A=6,570m <sup>2</sup>	520,000	234,000	210,600	23,400	52,000	当地区は、土砂災害警戒区域等に指定され、急峻な崖地の下に保全対象となる人家12戸、県道及び市道が存在する。今後の降雨によっては、大規模な土砂災害が発生する危険性が極めて高いことから早急に対策を行う必要。	令和元年7月に地元からの要望書を受領済み。	A
				測量・調査・設計 1式	20,000	9,000	8,100	900	2,000			
				費用便益比	B/C=2.03 > 1.00		負担割合	国:県:地元=45%:45%:10%				
たもと 田ノ元(4)地区	佐世保市	県	R13	法面工A=12,000m <sup>2</sup>	960,000	432,000	388,800	43,200	96,000	当地区は、土砂災害特別警戒区域に指定され、急峻な崖地の下及び崖上に保全対象となる人家25戸が存在する。今後の降雨によっては、大規模な土砂災害が発生する危険性が極めて高いことから、早急に対策を行う必要。	令和元年10月に地元からの要望書を受領済み。	A
				測量・調査・設計 1式	20,000	9,000	8,100	900	2,000			
				費用便益比	B/C=1.83 > 1.00		負担割合	国:県:地元=45%:45%:10%				

令和4年度新規要求箇所評価調書(急傾斜地崩壊対策事業)

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業主体	事業完了 予定年度	事業概要 (上段:全体、下段:R4)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R4)				新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合評価	
					事業費	国費	県費					市町村費等
							県債	一般財源				
あかさき 赤崎(57)地区	佐世保市	県	R7	法面工 A=1,300㎡	100,000	45,000	40,500	4,500	10,000	当地区は、土砂災害特別警戒区域に指定され、急峻な崖地の下に保全対象となる人家9戸が密集している。加えて、斜面上部の市道は佐世保市地域防災計画にて避難路として位置付けられている。今後の降雨によっては、大規模な土砂災害が発生する危険性が極めて高いことから、早急に対策を行う必要。	平成29年3月に地元からの要望書を受領済み。	A
				測量・調査・設計 1式	20,000	9,000	8,100	900	2,000			
				費用便益比	B/C=6.30>1.00		負担割合	国:県:地元=45%:45%:10%				
やまもと 大和(9)地区	佐世保市	県	R12	法面工A=4,500㎡	380,000	152,000	136,800	15,200	76,000	当地区は、土砂災害特別警戒区域に指定され、急峻な崖地の下及び崖上に保全対象となる人家25戸、市道が存在する。今後の降雨によっては、大規模な土砂災害が発生する危険性が極めて高いことから、早急に対策を行う必要。	平成30年8月に地元からの要望書を受領済み。	A
				測量・調査・設計 1式	20,000	8,000	7,200	800	4,000			
				費用便益比	B/C=4.52>1.00		負担割合	国:県:地元=40%:40%:20%				
さなえ 早苗(22)地区	佐世保市	県	R13	法面工A=3,000㎡	400,000	160,000	144,000	16,000	80,000	当地区は、土砂災害特別警戒区域に指定され、急峻な崖地の下及び崖上に保全対象となる人家10戸が存在する。今後の降雨によっては、大規模な土砂災害が発生する危険性が極めて高いことから、早急に対策を行う必要。	平成31年3月に地元からの要望書を受領済み。	A
				測量・調査・設計 1式	20,000	8,000	7,200	800	4,000			
				費用便益比	B/C=1.67>1.00		負担割合	国:県:地元=40%:40%:20%				
さなえ 早苗(31)地区	佐世保市	県	R13	法面工A=4,000㎡	340,000	136,000	122,400	13,600	68,000	当地区は、土砂災害特別警戒区域に指定され、急峻な崖地の下及び崖上に保全対象となる人家12戸、市道が存在する。今後の降雨によっては、大規模な土砂災害が発生する危険性が極めて高いことから、早急に対策を行う必要。	令和2年1月に地元からの要望書を受領済み。	A
				測量・調査・設計 1式	20,000	8,000	7,200	800	4,000			
				費用便益比	B/C=2.49>1.00		負担割合	国:県:地元=40%:40%:20%				

令和4年度新規要求箇所評価調書(急傾斜地崩壊対策事業)

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業主体	事業完了 予定年度	事業概要 (上段:全体、下段:R4)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R4)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等		総合評価
					事業費	国費	県費		市町村費等				
							県債	一般財源					
しらたけ 白岳(16)地区	佐世保市	県	R8	法面工A=1,300㎡	120,000	48,000	43,200	4,800	24,000	当地区は、土砂災害特別警戒区域に指定され、急峻な崖地の下に保全対象となる人家11戸、市道が存在する。今後の降雨によっては、大規模な土砂災害が発生する危険性が極めて高いことから、早急に対策を行う必要。	令和2年3月に地元からの要望書を受領済み。		A
				測量・調査・設計 1式	15,000	6,000	5,400	600	3,000				
合計					2,983,000	1,272,200	1,144,980	127,220	438,600	費用便益比 B/C=6.85 > 1.00	負担割合 国:県:地元=40%:40%:20%		
					140,000	59,000	53,100	5,900	22,000				